

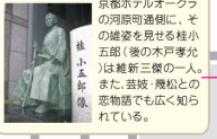
坂本龍馬家紋
道耕樹模至国際会館
地下鉄烏丸御池駅
至三条通前・太秦天神川鳥丸通
東洞院通
高倉通
柳町通
富小路通
地下鉄烏丸線地
鐵
四
條
駅
阪急
烏丸
駅
からすま
京都
ホテル
至竹田・京都

2 長州屋敷址



長州藩邸は幕末には尊王攘夷運動の拠点であったが、元治元年(1864)禁門の火で焼失した。時を経て、現在、この敷地内に京都ホテルオクラは建っている。

1 桂小五郎像



京都ホテルオクラの河原町通りに、その姿を祀る桂小五郎(後の戸戸孝允)は植村新之助の一人。また、芸妓・幾松との恋愛物語でも広く知られている。



市役所
1
4
3
2

京都ホテルオクラ周辺幕末史跡マップ

二条通

至出町柳

御池通

三条通

四条通

五条通

六条通

七条通

八条通

九条通

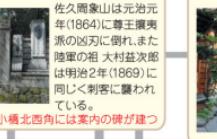
十条通

十一條通

十二條通

十三條通

十四條通

4 佐久間象山・
大村益次郎遭難之碑

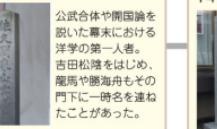
佐久間象山は元治元年(1864)に尊王攘夷の軍に倒れたまま陸路の船 大村益次郎は明治2年(1869)に同じく妻と共に覆没している。
※三条小橋北西角には案内の碑が建つ

3 幾松・桂小五郎寓居址



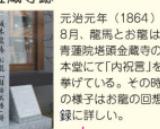
幾松は、桂小五郎が命の危険に晒されていたとも持ち得な時代、潜伏中の彼を必死にささえつけ、のちに妻となる女性である。現在は料理旅館として営業している。

5 佐久間象山寓居之址



公合体や開国論を説いた幕末における洋学の第一人者。吉田松陰をはじめ、鴎学や蘭学舟もその門下に一時名を連ねたことがあった。

14 金蔵寺跡



元治元年(1864)8月、龍馬とおおほは青蓮院塔頭金蔵寺の本堂にて「内祝詞」を挙げている。その時の様子はお龍の回想録に詳しい。

11 岩神社(土佐稻荷)



貞和4年(1348)、鴨川西寄の中央に祀られる岩神社。江戸時代初期に土佐藩内に遷された。境内に小さな龍馬像が建てられている。

6 武市瑞山寓居之跡



土佐藩郷士。同郷の龍馬(通称でもある)や中岡慎太郎ら同士を集めて佐久間党を結成した。文武両道に秀で、後の戯曲「月形半太夫」のモデルにもなった。

河原町通
高瀬川
先斗町
鴨川
川端通
京阪電車
木屋町通
裏寺通
寺町通
新京極
御幸町通
黙阿母通
11
10
12
13
14

至淀屋橋・伏見
南座
紙團扇手通り
京阪祇園四条駅
坂急河原町駅
坂急祇園四条駅
四条通
至淀屋橋・伏見

7 古村寅太郎寓居之址



土佐勤皇党に参加。後に天誅組を組織して奈良で奉行となるも、文久3年(1863)9月吉野にて戦死。石碑の傍には、愛媛の伝説焼の差置かれている。

9 酢屋



「酢屋」は享保6年(1721)より江戸材木商。龍馬はこの二階に海援隊京都本部を開き定宿とした。現在も当時の面影を残し、一階は木工芸店「酢屋」として営業、二階は「ギャラリー龍馬」として資料が展示されている。

10 土佐藩邸跡



土佐藩邸は高瀬川の西側から河原町通りに至る間にあった。最初の施設は、ここが「御比川」として日周謹慎をしていった。

京の街角に
刻まれた
龍馬の時代をたどる
小さな時間旅行



Kyoto Hotel Okura